



笑顔いっぱい为学校

かけはし

第 11 号

令和2年 3月 1日

ふるさと智恵文に誇りをもつ輝く智小っ子を「地域ぐるみ」で育てましょう

学び続けること

校長 橋 早智子



3月になりました。19日は卒業式、25日は修了式。寒暖の差が大きく、雪の少なかった今冬でしたが、最近日は暮れがだんだん遅くなり、春がすぐそこまで来ていることが感じられます。令和元年度も残り一ヶ月です。

また、先日の智恵文地区教育懇談会・懇親会には、多くの皆様にご参加いただき大変感謝しております。これからも本校教育への更なるご理解とご支援を賜りますよう、よろしくお願いいたします。

さて、「行く1月」「逃げる2月」「去る3月」と言いますよう、皆様何かと忙しくお過ごしのことと思います。学校も他の職種と同じく、今年度の業務点検・反省・次年度に向けての改善策の策定を行っているのですが、もう一つ(こちらの方が比重が大きく、教師の専門性が求められる)仕事があります。

保護者の皆様に2月18日の参観日の全体懇談でお話した、「平成29年告示 学習指導要領」に沿った、全学年の1年分の学習内容の計画書の作成です。

学習指導要領は10年ごとに10年後の未来を想定して改訂され、日本中の義務教育学校はこれに則って教育活動を行っています。改訂される度に「新しい学び」が組み入れられます。もちろん、時代と共に削除されていくものもあります。私は今回で3回、改訂に伴う教育課程の再編成に関わりました。

指導要領はマニュアルとは違いますので、実施数年前に告示され、教師は何年かかけてその内容を勉強し、熟知します。高い専門性が求められ、先輩教師が後輩教師に手順や方法・知識や経験を伝えながら、読みこなしていきます。そして、毎年、年度末に次年度の教育課程として冊子に仕上げます。智恵文小学校の令和元年度の教育課程は A4 版で10cmの厚さがあり、参観日などでご覧いただく授業もこの中に記載されているものです。

教師は「ずっと学び続ける」ことが仕事です。この姿が、学校で学ぶ児童の手本になります。

授業者は、指導の重点、評価の規準、授業中の配慮事項など、それぞれが情報収集し、また先輩に尋ね助言を受け、教師力を上げていきます。生徒指導も同じです。

今回の学校評価では、教師の資質能力向上に関わる多くの示唆をいただきましたことを深く自省し、保護者や地域の皆様から信頼される学校となるよう努力してまいります。